

新井 禎彦さん（岡山県岡山市北区出身）
JICA 草の根技術協力事業
案件名：ベトナム医療技術支援（循環器疾患領域）
実施団体：岡山大学病院 心臓血管外科
（提案自治体）：岡山市
派遣国：ベトナム
2017年7月9日（日）中国新聞 SELECT 掲載



※中国新聞社の許諾を得ています

心疾患治療の基盤築く

国際協力機構（JICA）の草の根技術協力の一環で、ベトナムの医療技術支援をしています。心臓血管外科が専門の私はプロジェクトマネージャーとして、小児先天性心疾患についての外科治療の技術を伝えるため、ハノイ国立小児病院とE病院、ホーチミン大学病院で集中講義や、岡山大病院での研修受け入れを担っています。

2011年からのプロジェクトには臨床現場での

治療への参加が含まれていましたが、16年からの今回は講義と見学が中心です。当初はベトナム側の研修員のモチベーションが心配でした。ただ以前の研修を生かし、単独で医療できる確立されたチームとなっていたので、問題なく高い意識で学んでくれています。

3病院はベトナムにおける基幹施設としての使命感と誇りが高く、研修員は積極的に学びたいと話してくれます。今回のプロジェクトでは最終目標としてベトナム語での治療マニュアル作りを目指しています。技術交流が将来、数十年にわたるベトナムでの治療体系の基盤となるために共に取り組んでいます。

前回の技術交流ではリーダーとなる人材の育成が主目的でした。今回は世代が代わっても継承されていく基盤を築けるよう力を合わせています。現地でのセミナーや岡山大病院での見学も熱心に行われていますが、最も大きな財産は、これを機会に交流を深めていき、長くつながる人の絆をつくっていることなのかもしれないと感じています。



手術の様子を周囲から熱心に見学するベトナムの研修員たち